

泊3号炉 耐震設計方針説明スケジュール

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目における作業順序	2021年度												2022年度												2023年度																																																																							
					3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																																						
					7	14	22	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	4	10	16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30													
耐震設計方針					①																																																																																															
集計結果					②																																																																																															
耐震設計方針					①																																																																																															
耐津波設計方針					①																																																																																															
取水性影響					①																																																																																															
防潮堤					①																																																																																															
1	基準地震動の策定	2	策定した基準地震動の妥当性		資料作成												説明期間												資料作成												説明期間												資料作成												説明期間																																			
2	基準地震動の策定	2	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動の設定	1													★																								★																								★																																			
3	基準地震動の策定	2	震源を特定せず策定する地震動による基準地震動の設定	1																																																																									★																							
4	プラント側審査の主要な説明項目	21	耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る審査実績のない設計条件・評価手法の採用など		資料作成												説明期間												★																																																																							
5	耐震設計方針	21	地下水位の設定方針		資料作成												説明期間												★																																																																							
6	耐震設計方針	21	地盤の液化化の評価方針		資料作成												説明期間												★																																																																							
7	耐震設計方針	21	既工認との手法の整理(耐震設計方針含む)		資料作成												説明期間												★																																																																							
8	本文		耐震設計方針																																																																																																	
9	別添-1		設計用地震力																																																																																																	
10	別添-2		動的機能維持の評価																																																																																																	
11	別添-3		弾性設計用地震動・静的地震力による評価																																																																																																	
12	別添-4		上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討について																																																																																																	
13	別添-5		水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せに関する影響評価方針																																																																																																	
14	別添-6		屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定の考え方																																																																																																	
15	別添-7		主要建屋の図面集																																																																																																	
16	別添-8		入力地震動について																																																																																																	
17	別紙-1		既工認との手法の相違点の整理(設置許可変更申請段階での整理)																																																																																																	
18	別紙-2		上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討																																																																																																	
19	別紙-3		水平2方向及び鉛直方向の地震力の適切な組合せに関する検討について																																																																																																	
20	別紙-4		規格適用範囲外の動的機能維持の評価																																																																																																	
21	別紙-5		地震時における燃料被覆管の閉じ込め機能の維持について																																																																																																	
22	別紙-6		土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について																																																																																																	
23	別紙-7		後施工せん断補強筋による耐震補強について																																																																																																	
24	別紙-8		屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定について																																																																																																	
25	別紙-9		地盤の液化化の評価方針について																																																																																																	
26	別紙-10		地下水位設定方針について		①																																																																																															
27	別紙-11		地下水排水設備について																																																																																																	

凡例
 ▽: 資料提出(実績は黒色で塗りつぶし)
 ☆: 審査希望時期(実績は黒色で塗りつぶし)
 ◆: 審査期間(ヒアリング~審査会合)
 ◆: ヒアリングでの事実確認を踏まえた資料修正期間も含む
 ◆: 検討期間
 ◆: 資料作成期間
 ◆: タスクの関連線
 ◆: クリティカルパス(管路解析にかかわる事項)
 ◆: クリティカルパス(防潮堤構造成立性にかかわる事項)
 ◆: 改訂前のスケジュールで示していた審査期間等

凡例
 ①: ヒアリング1回目実施時期
 ②: ヒアリング2回目実施時期
 ▽: 資料提出時期
 ☆: 審査会合時期

基準地震動の会合時期が当初予定よりも遅れたが、基準地震動の確定を待たず、審査で説明している地震動に対して当社のオウンスクとして先行して評価を実施し、後工程の遅れを生じないように進めている。審査で説明している地震動から大きな変更が生じた場合には、再評価の時間が必要となり、工程が遅れるリスクがある。

別紙に関連する別添について、別紙と合わせて提出し、該当する本文、別紙、別添についてご説明する。以降同様。

別紙類について大きな論点はないと考えているため、地震動確定後に一通りの説明をすることを踏まえて、ハザード確定前に説明した方が効率的なものとして、別紙6(土木構造物モデル精緻化)、別紙7(あと施工せん断補強筋)、別紙8(断面選定)ハザード確定後に説明するものとして、別紙1(既工認との相違点)、別紙2(波及的影響)、別紙3(水平2方向)、別紙4(動的機能維持)、別紙5(燃料被覆管)について論点を明確にして説明する。

審査会合に向けた耐震設計方針(4条及び39条)の一通りのご説明(PPT資料含む)

審査会合のコメント反映(液化化強度試験の試料採取位置の代表性・網羅性)

津波防護施設等反映

津波防護施設等反映

解析結果の反映

解析結果の反映

津波防護施設等反映

液化化強度試験妥当性確認結果の反映

これ以上、耐震設計方針に係る審査会合が運延すると本件が全体スケジュールのクリティカルパスとなる。

「既工認との手法の相違点の整理」が全体スケジュールのサブクリティカルパスとなることが想定される。青枠内の項目については「既工認との手法の相違点の整理」を主軸とした耐震設計方針の審査会合で説明できるようヒアリング時期を設定することを志向したい。

基準地震動確定後の耐震設計方針について一通りのご説明をする。

【スケジュールの作成方法について】

1. スケジュールの上段では審査会合で提示するスケジュールから、耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る内容について抽出しております。
2. それを基にスケジュールの下段にて前タスクとなる事項との関連を考慮して資料提出、ヒアリング、審査会合の希望時期をプロットしたうえで、ヒアリングや審査会合が輻輳する時期を極力少なくするように配置しております。
3. その中でもクリティカルパスに係る箇所およびサブクリティカルとなり得る箇所については背景色を変えております。加えてクリティカルパスとなる箇所については下部に矢印も表記しております。
4. ヒアリングや審査会合の輻輳状況を確認するため、最上段に耐震設計方針と耐津波設計方針に係るヒアリング及び審査会合の状況がわかるように各々を集計した結果を示しております。
5. 上記の検討結果を踏まえて、スケジュール上段のバーを更新し、更新前のバーは灰色の影で示しております。

